

IBM InfoSphere Information Server
バージョン 11 リリース 3

**Java Integration ステージ
メッセージ・リファレンス**



IBM InfoSphere Information Server
バージョン 11 リリース 3

**Java Integration ステージ
メッセージ・リファレンス**



お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、19 ページの『特記事項および商標』に記載されている情報をお読みください。

目次

Java Integration ステージのメッセージ	1	付録 C. 製品資料へのアクセス	17
付録 A. 製品のアクセシビリティ	13	特記事項および商標	19
付録 B. IBM の窓口	15	索引	25

Java Integration ステージのメッセージ

このメッセージ・リファレンスには、Java Integration ステージのさまざまなコンポーネントから返されるメッセージが含まれています。

Java Integration ステージがインストールされているオペレーティング・システムの機能を十分に理解している必要があります。このメッセージ・リファレンスの情報を使用して、エラーや警告を特定し、適切なりカバー・アクションによって問題を解決することができます。この情報はまた、メッセージが生成されてログに記録された場所を理解するためにも使用できます。

パラレル・エンジンは、インストール中、ファイルの書き込みまたは読み取り中、および一般的な製品使用中に発生したエラーに関するメッセージを生成します。メッセージ情報は、エラーのタイプを記述し、そのエラーの発生理由を説明し、それらに対処する解決策を提示します。

各メッセージに、接頭部 (IIS) とメッセージ番号で構成されるメッセージ ID があります。メッセージは、メッセージ番号に基づいて番号順にリストされています。メッセージ・タイプには、エラー、警告、および通知の 3 種類があります。E で終わるメッセージ ID は、エラー・メッセージです。W で終わるメッセージは警告を示します。I で終わるメッセージは通知メッセージを示します。

メッセージ中にある {0} 記号は、コードによって返される変数を示しています。この変数は、生成されるメッセージに固有の値またはプロパティを表します。

エラーの詳細は、IBM® InfoSphere™ DataStage® and QualityStage™ Director クライアントのログ・ファイルで確認できます。

IIS-CONN-JAVA-00003E プロパティ値が無効です:

{JavaBeans プロパティおよび
InfoSphere DataStage 列名 }

説明: プロパティに指定された値が無効です。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere

DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00004E 既に接続済みです

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする

方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00005E 接続していません

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00006E サポートされないデータ・タイプです: {SQL タイプ }

説明: 指定されたデータ・タイプはサポートされていません。このエラーは内部エラーです。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00007E 無効なメタデータ・クラスが指定されました: {クラス名 }

説明: 指定されたメタデータ・クラス名は無効です。このエラーは内部エラーです。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00008E 無効なユーザー・クラスが指定されました: {ユーザー・クラス名 }

説明: 指定されたユーザー・クラスは、com.ibm.is.cc.javastage.api.Processor クラスの拡張でも com.ascentialsoftware.jds.Stage クラスの拡張でもありません。

ユーザーの処置: 指定するユーザー・クラスは、Java Integration ステージによってサポートされる com.ibm.is.cc.javastage.api.Processor クラスまたは com.ascentialsoftware.jds.Stage クラスの拡張であるようにしてください。サポートされるユーザー・クラスのリストについての情報は、Java Integration ステージの文書の『Processor クラスの抽象メソッドの実装』のトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00009E 必要なプロパティ値が見つかりません。

説明: 必要なプロパティ値が指定されていません。

ユーザーの処置: 必要なプロパティ値を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00011I {Java コードによって指定されたメッセージ・ストリング。 }

説明: デバッグ・メッセージは Logger.debug() メソッドの呼び出しによって生成されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-JAVA-00012I {Java コードによって指定されたメッセージ・ストリング。}

説明: このメッセージは `Logger.information()` メソッドの呼び出しによって生成されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-JAVA-00013W {Java コードによって指定されたメッセージ・ストリング。}

説明: この警告メッセージは `Logger.warning()` メソッドの呼び出しによって生成されます。

ユーザーの処置: メッセージを検討して Java コードを修正します。

IIS-CONN-JAVA-00015E {Java コードによって指定されたメッセージ・ストリング。}

説明: このエラー・メッセージは `Logger fatal()` メソッドの呼び出しによって生成されます。

ユーザーの処置: メッセージを検討して Java コードを修正します。

IIS-CONN-JAVA-00018W {警告メッセージ。}

説明: Java コードが `JavaPack` 互換モードで実行されたときに問題が発生し、ジョブが停止しませんでした。

ユーザーの処置: 警告メッセージを検討し、ジョブ・デザインまたは Java コードを修正します。

IIS-CONN-JAVA-00019E {エラー・メッセージ。}

説明: Java コードが `JavaPack` 互換モードで実行されたときに問題が発生し、ジョブが停止しませんでした。

ユーザーの処置: エラー・メッセージを検討し、ジョブ・デザインまたは Java コードを修正します。

IIS-CONN-JAVA-00020E リジェクト・エラー・テキストが設定されていません。

説明: Java コードに、リジェクト・リンクに送信されるレコードについてのエラー・テキストが含まれていなければなりません。

ユーザーの処置:

`com.ibm.is.cc.javastage.api.RejectRecord.setErrorText(String)` メソッドを呼び出して、リジェクトのエラー・テキストを指定します。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージ API の文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00021E リジェクト・エラー・コードが設定されていません。

説明: Java コードには、リジェクトのエラー・コードが含まれていなければなりません。

ユーザーの処置: `com.ibm.is.cc.javastage.api.RejectRecord.setErrorCode(int)` メソッドを呼び出して、リジェクトのエラー・コードを指定します。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージ API の文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00022E リジェクト・リンクが構成されていません。リジェクト・リンクを構成して保存してください。

説明: リジェクト・リンクが正しく構成されていません。

ユーザーの処置: ジョブ・デザインで、リジェクトを適切に構成するようにしてください。リジェクト・リンクを追加および構成するには、以下のステップを実行します。

1. Java Integration ステージの出力リンクを追加します。
2. 出力リンクを右クリックし、「リジェクトに変換」チェック・ボックスを選択して、出力リンクをリジェクト・リンクに変換します。
3. ステージ・エディターを開き、「リジェクト」タブをクリックします。
4. 「リジェクト行」リストから、レコードのリジェクトに使用する条件を 1 つ以上選択します。
5. 「リジェクト行に追加」セクションで、「**ERRORCODE**」または「**ERRORTTEXT**」、あるいは両方を選択して、レコードがリジェクトされた理由を識別するために、リジェクトされたレコードの中にエラー・コードとエラー・テキスト情報を含めなければならないことを示します。
6. 「リジェクト元のリンク」リストから、入力リンクを選択します。
7. 「異常終了条件」フィールドに、条件のしきい値を指定します。
8. 「リジェクト後に異常終了」フィールドに、リジェクト・リンクの上限を指定します。
9. 「**OK**」をクリックして、ジョブを保存します。

IIS-CONN-JAVA-00024W ウェーブ・マーカーを送信できません。

説明: `com.ibm.is.cc.javastage.api.OutputLink.writeWaveMarker()` メソッドが呼び出されたが `com.ibm.is.cc.javastage.api.Capabilities.setIsWave`

Generator プロパティが true に設定されていなかったため、ウェーブ・マーカは生成されませんでした。

ユーザーの処置:

com.ibm.is.cc.javastage.api.Capabilities.setIsWave
Generator(boolean) を true に設定します。

IIS-CONN-JAVA-00025W フィールド {列} の値 {フィールド値} は小さすぎるか、大きすぎて、{列の SQL タイプ} タイプに適合しません。

説明: 指定された値が、列の SQL タイプの範囲内ではありません。

以下は、InfoSphere DataStage 列の数値タイプの最小値と最大値のリストです。

Float または Real

最小: -3.4028234663852886E38f

最大: 3.4028234663852886E38f

BigInt(Unsigned)

最小: 0

最大: 18446744073709551615

BigInt 最小: -9223372036854775808

最大: 9223372036854775807

Integer(Unsigned)

最小: 0

最大: 4294967295

Integer 最小: -2147483648

最大: 2147483647

SmallInt(Unsigned)

最小: 0

最大: 65535

SmallInt

最小: -32768

最大: 32767

TinyInt(Unsigned)

最小: 0

最大: 255

TinyInt 最小: -128

最大: 127

Bit 最小: 0

最大: 65535

ユーザーの処置: InfoSphere DataStage 行の有効な値を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00026W 精度が {精度値} の decimal に対して、ソース・ストリング ({decimal 値}) が範囲外です。

説明: 指定された decimal 値が範囲内にありません。

ユーザーの処置: ジョブ・デザインの精度とスケールの属性を検討し、指定した decimal 値が範囲内かどうかを確認します。Java コードを修正して有効な decimal 値を指定するか、ジョブ・デザインの精度とスケールの属性を修正します。

IIS-CONN-JAVA-00027W decimal フィールド {列名} に string {string 表現の decimal 値} を設定できません。

説明: 指定された string 値を decimal 値に変換できません。

ユーザーの処置: 指定された string 値から java.math.BigDecimal クラスのインスタンスを作成できることを確認してください。

IIS-CONN-JAVA-00028W String 値 {string 表現の値} を {SQL タイプ} タイプに変換しようとして、失敗しました。列 {列名} の値は NULL として処理されます。

説明: 指定された string 値を InfoSphere DataStage 列値に変換できませんでした。

ユーザーの処置: string 値を InfoSphere DataStage 列に変換できることを確認してください。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージ API の文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00029W 符号なし BigInt に対する Java Pack 互換性エラー。フィールド {列名} のタイプは int64 でなければなりません。

説明: Java Pack API は符号なし BigInt データ・タイプをサポートしていません。

ユーザーの処置: BigInt データ・タイプの指定された列から、Unsigned 属性を削除します。

IIS-CONN-JAVA-00030E Java Pack の互換性の問題: デッドロックが検出されました。すべての入力リンクがブロックされました。

説明: コネクターがデッドロックを検出し、Java Pack がコネクターと互換性がないため、すべての入力リンクがブロックされました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収

集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00031E Java Pack の互換性の問題: 呼び出された Stage.readRow() が無効な状態でした。

説明: このエラーは、Java コードが Stage.readRow() API をその initialize() メソッドから呼び出すと発生します。

ユーザーの処置: エラー・メッセージを検討し、Java コードを修正します。

IIS-CONN-JAVA-00032E JavaBeans が指定されていません。

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは .dsx ファイルまたは .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00033E 入力 Bean が設定されていません。

説明: 入力リンクが JavaBeans コンポーネントを使用するように構成されていません。

ユーザーの処置: Java コードが、Processor.getBeanForInput() メソッドの結果として、入力リンクに対応する JavaBeans クラスを返すことを確認してください。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージ API の文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00034E 出力 Bean が設定されていません。

説明: 出力リンクが JavaBeans コンポーネントを使用するように構成されていません。

ユーザーの処置: Java コードが、Processor.getBeanForOutput() メソッドの結果として、出力リンクに対応する JavaBeans クラスを返すことを確認してください。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージ API の文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00035E JavaBeans を設定できませんでした。クラス名: {JavaBeans クラス名}

説明: InfoSphere DataStage ディレクター・クライアントのジョブ・ログに記録されたエラーのために、ジョブは、指定された JavaBeans クラスを使用できません。

ユーザーの処置: その後のエラー・メッセージを検討し、ジョブ・デザインまたは Java コードを更新します。引き続きエラーが発生する場合は、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージの『トラブルシューティング』のトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00036W JavaBeans は設定されましたが、警告がありました。クラス名: {JavaBeans クラス名}

説明: 指定された JavaBeans クラスまたはジョブ・デザインに問題が含まれ、ジョブが停止しませんでした。通常、このメッセージは、InfoSphere DataStage 列と JavaBeans プロパティ間のマッピングで矛盾がある場合に表示されます。

ユーザーの処置: その後の警告メッセージを検討し、ジョブ・デザインまたは Java コードを更新します。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージの『トラブルシューティング』のトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00037E {*JavaBeans* クラス名} は有効な *JavaBeans* ではありません。理由: {理由}

説明: 指定された *JavaBeans* クラス名は、*JavaBeans* 規則に合わないため、無効です。

ユーザーの処置: 有効な *JavaBeans* クラス名を指定します。*JavaBeans* 規則について詳しくは、IBM Knowledge Center の『*JavaBeans* の使用』のトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00038E 指定された *JavaBeans* クラスに、引数のない **public** コンストラクターがありません。

説明: 指定された *JavaBeans* クラスに、引数が含まれない **public** コンストラクターがありません。

ユーザーの処置: *JavaBeans* クラスに、引数のない **public** コンストラクターが含まれるようにしてください。

IIS-CONN-JAVA-00039E 指定された *Java* プリミティブ型またはそのラッパー・クラスがサポートされていません。

説明: *Java Integration* ステージによってサポートされていない *Java* プリミティブ・タイプ、またはそのタイプのラッパー・クラスを、クラスが使用しています。

ユーザーの処置: *Java Integration* ステージによってサポートされている *Java* プリミティブ・タイプおよびラッパー・クラスを、*JavaBeans* クラスが使用するようにしてください。サポートされている *Java* プリミティブ・タイプおよびラッパー・クラスについて詳しくは、IBM Knowledge Center の *Java Integration* ステージ API の文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00040E 指定された *JavaBeans* クラスに、有効なプロパティがありません。

説明: 指定された *JavaBeans* クラスに有効な *JavaBeans* プロパティが含まれていません。

ユーザーの処置: *JavaBeans* クラスに、1 つ以上の有効なプロパティが含まれるようにしてください。詳しくは、IBM Knowledge Center の『*JavaBeans* の使用』のトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00041E サポートされない *Bean* プロパティ・タイプ。クラス名: {*JavaBeans* クラス名}、プロパティ名: {*JavaBeans* プロパティ名}、プロパティ・タイプ: {*JavaBeans* プロパティ・タイプ}

説明: 指定された *JavaBeans* クラスで使用されている *JavaBeans* プロパティ・タイプはサポートされていません。

ユーザーの処置: *Java Integration* ステージによってサポートされている *JavaBeans* プロパティのみを指定します。詳しくは、IBM Knowledge Center の『*JavaBeans* の使用』のトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00042E {*JavaBeans* クラス名} の *Bean* プロパティ「{*JavaBeans* プロパティ名}」には、その **getter** および **setter** が必要です。

説明: 指定された *JavaBeans* クラスに、各プロパティの **getter** メソッドおよび **setter** メソッドがありません。

ユーザーの処置: 指定された *JavaBeans* クラスの各プロパティの **getter** メソッドおよび **setter** メソッドを指定します。詳しくは、IBM Knowledge Center の『*JavaBeans* の使用』のトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00043E ユーザー・コードがこのリンクの *Bean* クラス「{*Java* コードによって返された *JavaBeans* クラス}」を戻しましたが、これは、**デザイン**で指定された「{ジョブ内に指定された *JavaBeans* クラス}」に一致しません。「列マッピング・エディター」ウィンドウを起動して、列マッピングを再構成してください。

説明: `Processor.getBeanForInput()` メソッドまたは `Processor.getBeanForOutput()` メソッドによって返された *JavaBeans* クラスが、ジョブ内に指定されたクラスと一致しません。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウで、列マッピングを構成します。列マッピング・エディターについて詳しくは、IBM Knowledge Center の *Java Integration* ステージの文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00044W {*JavaBeans* クラス} の *Bean* プロパティ {*JavaBeans* プロパティ} は、どの列にもマップされていません。

説明: *JavaBeans* クラス内に指定された *JavaBeans* プロ

パティアーは、InfoSphere DataStage 列にマップされていません。

ユーザーの処置: ジョブの中で JavaBeans プロパティアーが使用されていない場合は、「構成」をクリックして、JavaBeans プロパティアーと InfoSphere DataStage 列間のマッピングを再構成し、ジョブを保存します。

IIS-CONN-JAVA-00045E 列名「*{InfoSphereDataStage 列名}*」、または *{JavaBeans クラス名}* の Bean プロパティアー名「*{JavaBeans プロパティアー名}*」は重複しています。

説明: InfoSphere DataStage 列と JavaBeans プロパティアー間のマッピングで、重複するエントリーが見つかりました。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウで、列マッピングを構成します。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージの文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00046W *{JavaBeans クラス名}* の Bean プロパティアー「*{JavaBeans プロパティアー名}*」にマップされた DataStage の列「*{InfoSphere DataStage 列名}*」をジョブ・デザインの中に見つけることができませんでした。

説明: JavaBeans プロパティアーにマップされた InfoSphere DataStage 列が、現在のジョブ・デザインの中で見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウで、列マッピングを構成します。

IIS-CONN-JAVA-00047E タイプの不一致が発生しました。列名: *{InfoSphere DataStage 列名}*、列タイプ・クラス: *{InfoSphere DataStage 列 SQL タイプ}*、Bean プロパティアー名: *{JavaBeans プロパティアー名}*、Bean プロパティアー・タイプ・クラス: *{JavaBeans プロパティアー・タイプ}*、Bean クラス名: *{JavaBeans クラス名}*

説明: 指定された JavaBeans タイプは、InfoSphere DataStage 列データ・タイプと一致しません。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウで、列マッピングを構成します。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージの文書の『データ・タイプ』セクションを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00048E NULL 可能な列「*{InfoSphere DataStage 列名}*」を Java プリミティブ「*{Java プリミティブ名}*」にマップできません。

説明: 指定された Java プリミティブ・タイプは、NULL 可能な InfoSphere DataStage 列にマップできません。

ユーザーの処置: InfoSphere DataStage 列を更新して NULL 可能でないようにします。

IIS-CONN-JAVA-00049E 列から Bean プロパティアーへのマッピングが定義されていません。「列マッピング・エディター」ウィンドウを起動して、Bean の列マッピングを定義してください。Bean クラス名: *{JavaBeans クラス名}*

説明: InfoSphere DataStage 列と JavaBeans プロパティアー間の列マッピングが構成されていませんでした。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウで、JavaBeans プロパティアーを InfoSphere DataStage 列にマップします。

IIS-CONN-JAVA-00050E ユーザー定義関数の戻り値に使用可能な DataStage 列がありません。

説明: ユーザー定義関数の戻り値に対して、InfoSphere DataStage 列が構成されていません。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウを起動して、出力リンク内の InfoSphere DataStage 列にマップします。

IIS-CONN-JAVA-00051E ユーザー定義関数の引数に使用可能な DataStage 列がありません。入力リンク: *{0 から始まるリンクの索引}*

説明: ユーザー定義関数の引数に対して InfoSphere DataStage 列はマップされていません。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウを起動して、すべての引数を InfoSphere DataStage 列にマップします。

IIS-CONN-JAVA-00052E タイプの不一致が発生しました。列名: *{InfoSphere DataStage 列名}*、列タイプ・クラス: *{InfoSphere DataStage 列 SQL タイプ}*、ユーザー定義関数の引数または戻りタイプのクラス: *{引数タイプまたは戻りタイプ}*

説明: ユーザー定義関数の、指定された引数タイプまたは戻り値タイプは、ジョブの中で列に指定されたデー

タ・タイプと一致しません。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウで、列マッピングを構成します。詳しくは、IBM Knowledge Center の Java Integration ステージの文書の『データ・タイプ』セクションを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00056E ステージ・デザインが Java コードと互換性がありません。 ステージに {ジョブ内の入力リンクの数} 個の入力リンクがありますが、Java コードでは最小 {Java コードによって必要とされる入力リンクの最小数} 個、最大 {Java コードによって必要とされる入力リンクの最大数} 個が预期されています。

説明: Java コードには {Java コードによって必要とされる入力リンクの最小数} 個から {Java コードによって必要とされる入力リンクの最大数} 個の入力リンクが必要ですか、ステージにある入力リンクの数は {ジョブ内の入力リンクの数} 個です。

ユーザーの処置: Java Integration ステージに、コードによってサポートされる入力リンク数があるように、ジョブをセットアップします。

IIS-CONN-JAVA-00057E ステージ・デザインが Java コードと互換性がありません。 ステージに {ジョブ内の出力リンクの数} 個の出力リンクがありますが、Java コードでは最小 {Java コードによって必要とされる出力リンクの最小数} 個、最大 {Java コードによって必要とされる出力リンクの最大数} 個が预期されています。

説明: Java コードには {Java コードによって必要とされる出力リンクの最小数} 個から {Java コードによって必要とされる出力リンクの最大数} 個の出力リンクが必要ですか、ステージにある出力リンクの数は {ジョブ内の出力リンクの数} 個です。

ユーザーの処置: Java Integration ステージに、コードによってサポートされる出力リンク数があるように、ジョブをセットアップします。

IIS-CONN-JAVA-00058E ステージ・デザインが Java コードと互換性がありません。 ステージに {ジョブ内のリジェクト・リンクの数} 個のリジェクト・リンクがありますが、Java コードでは最小 {Java コードによって必要とされるリジェクト・リンクの最小数} 個、最大 {Java コードによって必要とされるリジェクト・リンクの最大数} 個が预期されています。

説明: Java コードには {Java コードによって必要とされるリジェクト・リンクの最小数} 個から {Java コードによって必要とされるリジェクト・リンクの最大数} 個のリジェクト・リンクが必要ですか、ステージにあるリジェクト・リンクの数は {ジョブ内のリジェクト・リンクの数} 個です。

ユーザーの処置: Java Integration ステージに、コードによってサポートされるリジェクト・リンク数があるように、ジョブをセットアップします。

IIS-CONN-JAVA-00059E 引数 {引数名} は NULL でした

説明: 値が必要なメソッドに、NULL 値が提供されました。例えば、Java コードが、NULL 引数を指定して ColumnMetadata.getColumn(String) を呼び出すと、IllegalArgumentException がスローされ、このメッセージが表示されます。

ユーザーの処置: エラー・メッセージ内の情報を使用して、NULL でない値を必要とする引数を識別し、その引数に値を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00060E 指定されたレコードは、このリンクに作成されませんでした。

説明: 対応するリンクに対して、指定された OutputRecord インスタンスが作成されませんでした。

ユーザーの処置: Java コードの中で、OutputLink.getOutputRecord() メソッドを呼び出して OutputRecord インスタンスを作成します。

IIS-CONN-JAVA-00061E 現行ステージ構成をユーザー・コードが受け入れられませんでした。
理由: {理由}

説明: Java コードは、ジョブが構成されている方法と互換性がありません。

ユーザーの処置: エラーの原因に関する情報を使用して、問題を修正してください。Java コードの中で、Processor.validateConfiguration() メソッドが正しく実装されるようにしてください。

IIS-CONN-JAVA-00062W 出力リンクが存在しないため、ユーザー定義関数の戻り値は無視されます。

説明: ユーザー定義関数は戻り値を提供しましたが、Java Integration ステージに出力リンクがありません。

ユーザーの処置: ユーザー定義関数からの戻り値を使用する場合は、Java Integration ステージに出力リンクを追加して構成します。

IIS-CONN-JAVA-00063E 列 {列名} には精度が必要ですが、設定されていません。

説明: Decimal データ・タイプの列に精度が指定されていません。このエラーは、Java コードが、`Processor.getAdditionalOutputColumns()` メソッドを使用して `ColumnMetadata` インスタンスのリストを作成する場合に発生する可能性があります。

ユーザーの処置: Java コードの中で、指定された列の `ColumnMetadata` インスタンスの精度値を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00064E Java 例外が発生しました: {スタック・トレース。}

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは `.dsx` ファイルまたは `.isx` ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に収集する必要がある特定のログと情報については、IBM Knowledge Center で InfoSphere Information Server のトラブルシューティングのトピックを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを `.dsx` ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを `.isx` ファイルとしてエクスポートする方法については、IBM Knowledge Center の InfoSphere DataStage のジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00065W フィールド {列名} で String 値 {string 表現の値} を {SQL タイプ名} タイプに変換しようとして、失敗しました。失敗の位置は {string 内の位置} です。

説明: 指定された string 値を InfoSphere DataStage 列値に変換できませんでした。

ユーザーの処置: 指定された数値が有効であることを確認してください。詳しくは、Java Integration ステージ API の Javadoc を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00066W NULL 可能でないフィールド {列名} には NULL を設定できません。

説明: Java コードは、NULL 可能でない列に NULL 値を設定しようとして失敗しました。

ユーザーの処置: 以下のいずれかの作業を実行してください。

- NULL 以外の値が指定されるように Java コードを更新します。
- ジョブの中で、列が NULL 可能であるように、列の NULL 可能属性を更新します。

IIS-CONN-JAVA-00067W フィールド {列名} のタイム・スタンプ・ストリング {タイム・スタンプ・ストリング} は yyyy-MM-dd HH:mm:ss.ffffff のフォーマットに一致しません。整数がタグ {構文解析エラーを引き起こしたタイム・スタンプ・ストリングの部分} に一致すると予期されていました。

説明: `OutputRecord.setValueAsString()` メソッドによって指定されたタイム・スタンプ・ストリングは、必要なフォーマット `yyyy-MM-dd HH:mm:ss.ffffff` と一致しません。

ユーザーの処置: タイム・スタンプが必要なフォーマットであるように、Java コードを修正します。

IIS-CONN-JAVA-00068W フィールド {列名} の date 値が無効です。date は、9999-12-31 より後、または 0001-01-03 より前にはできません。ユリウス日の値 = {ユリウス日の値}。

説明: 指定された日付が範囲外です。Date データ・タイプの列の値は、0001-01-03 から 9999-12-31 の範囲になければなりません。

ユーザーの処置: `OutputRecord.setValue()` メソッドまたは `OutputRecord.setValueAsString()` API によって指定された値が有効であるように、Java コードを修正します。

IIS-CONN-JAVA-00069W 列「{列名}」が見つかりませんでした。

説明: 指定された名前の列は、ジョブの中ではありません。このエラーは、Java コードが、間違った列名を指定して `OutputRecord.setValue()` メソッド、`OutputRecord.setValueAsString()` メソッド、または `InputRecord.getValue()` メソッドを呼び出した場合に発生する可能性があります。

ユーザーの処置: Java コードの中で、有効な列名を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00070W `{IllegalArgumentException` 内のメッセージ。 } 列名: {列名}、Bean プロパティ名: {JavaBeans プロパティ名}、Bean プロパティ・タイプ・クラス: {JavaBeans プロパティ・タイプ}、オブジェクト・タイプ・クラス: {設定されるオブジェクト・タイプ}

説明: Java Integration ステージは、指定された JavaBeans プロパティの値を設定できませんでした。

ユーザーの処置: 「列マッピング・エディター」ウィンドウで、列マッピングを構成します。列マッピング・エディターについて詳しくは、Java Integration ステージの文書を参照してください。

IIS-CONN-JAVA-00071E 指定されたクラスパスに使用可能なクラスがありません。クラスパスが正しいことを確認して再試行してください。

説明: Java Integration ステージは、Java Integration ステージの「使用法」 > 「Java」 > 「クラスパス」 プロパティに対して指定された値に基づいて、指定されたユーザー・クラスをロードできませんでした。

ユーザーの処置: Java Integration ステージで、「使用法」 > 「Java」 > 「クラスパス」プロパティに有効な値を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00072E 指定されたクラスに使用可能なユーザー定義関数がありません。Java Integration ステージで呼び出すことができる有効なユーザー定義関数が、指定されたクラスに含まれていることを確認してください。

説明: Java Integration ステージは、Java Integration ステージの「使用法」 > 「Java」 > 「ユーザー・クラス」 プロパティに対して指定された値に基づいて、指定されたユーザー・クラスをロードできませんでした。

ユーザーの処置: Java Integration ステージの中で、「使用法」 > 「Java」 > 「ユーザー・クラス」プロパティの有効な値を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00073E メッセージ ID のコンポーネント ID に NULL を設定することはできません。最大長 {最大長} の英数字のコンポーネント ID を指定してください。

説明: すべてのメッセージ ID にはコンポーネント ID が含まれていなければなりません。メッセージ ID について詳しくは、IBM Knowledge Center で Java

Integration ステージの文書の『Java Integration ステージによるメッセージのログギング』セクションを参照してください。

ユーザーの処置: 最大 {最大長} 文字の英数字のコンポーネント ID を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00074E メッセージ ID に指定された次のコンポーネント ID が無効です: 「{コンポーネント ID}」。最大長 {最大長} の英数字のコンポーネント ID を指定してください。

説明: 指定されたコンポーネント ID に英数字が含まれていません。

ユーザーの処置: 最大 {最大長} 文字の英数字のコンポーネント ID を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00075W 次の値は、Java Integration ステージのコンポーネント ID として予約されています: 「{コンポーネント ID}」

説明: 指定されたコンポーネント ID は、Java Integration ステージ用に予約済みです。この ID は、作成するメッセージのコンポーネント ID として使用できません。

ユーザーの処置: 指定されたメッセージ番号を付けてメッセージがログに記録されるときに使用する、別のコンポーネント ID を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00076W メッセージ ID に指定されたコンポーネント ID は「{コンポーネント ID}」に切り捨てられます。

説明: 指定されたコンポーネント ID に、8 文字より多い文字が含まれています。このため、コンポーネント ID は 8 文字までに切り捨てられました。詳しくは、Java Integration ステージ API の Javadoc を参照してください。

ユーザーの処置: コンポーネント ID が切り捨てられないようにするには、最大 8 文字の英数字が含まれたコンポーネント ID を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00077W 指定されたメッセージ番号 {メッセージ番号} は無効です。メッセージ番号は {最小メッセージ番号} から {最大メッセージ番号} までの数字でなければなりません。

説明: 指定されたメッセージ番号が無効です。指定され

たメッセージ番号は、許可された範囲外であるため、無効です。

ユーザーの処置: Java Integration ステージのロガー API (com.ibm.is.cc.javastage.api.Logger) の最初の引数に、{最小メッセージ番号} から {最大メッセージ番号} までのメッセージ番号を指定します。このメッセージに関連するロガー API のリストは以下のとおりです。

- warning (int messageNumber, String message)
- information (int messageNumber, String message)
- debug (int messageNumber, String message)

IIS-CONN-JAVA-00078E Java Integration ステージは、コンダクター・ノードからプレイヤー・ノードへのデータ転送のみをサポートします。

説明: Java Integration ステージは、コンダクター・ノードからプレイヤー・ノードのみのデータ転送のみをサポートします。

ユーザーの処置: Java コードの中で、sendTo(int, Serializable) メソッドの宛先引数として NODE_PLAYER を、receiveFrom(int) メソッドのソース引数として NODE_CONDUCTOR を指定します。

IIS-CONN-JAVA-00079W クラスパス定義内で対応しない文字 {対応しない文字} が検出されました。

説明: クラスパス構成ファイルに、開始の二重引用符など、対応しない文字が含まれています。

ユーザーの処置: クラスパス構成ファイルの中に、有効なクラスパスを指定します。

IIS-CONN-JAVA-00155I 追加の設定は必要ありません。

説明: Java コードは、プロセッサ抽象クラスから、getUserPropertyDefinition()、getBeanForInput()、getBeanForOutput()、getColumnMetadataForInput()、getColumnMetadataForOutput() のどのメソッドも実装しないため、追加の設定は必要ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-JAVA-00156E このステージにリンクは定義されていません。

説明: Java Integration ステージに、InfoSphere DataStage リンクは定義されていません。

ユーザーの処置: 1 つ以上の入力リンクまたは出力リンクを作成し、「構成」を再度クリックします。

IIS-CONN-JAVA-00157E インポートに使用可能な列メタデータがありません。

説明: 実装のための getColumnMetadataForInput() メソッドまたは getColumnMetadataForOutput() メソッドの呼び出しの結果として列メタデータが返されなかったため、「列メタデータの選択」パネルは作成できませんでした。

ユーザーの処置: エラー・メッセージを検討し、Java コードを修正します。

IIS-CONN-JAVA-00170E 現行構成の検証に失敗しました。

説明: ジョブ・デザインが Java コードと互換性がありません。

ユーザーの処置: メッセージ・ボックスに表示されたエラーのリストを検討し、ジョブ・デザインまたは Processor.validateConfiguration() 実装を修正します。

IIS-CONN-JAVA-00171E 現行構成の検証中に例外が発生しました。

説明: ジョブ・デザインが検証されているときに、Java 例外が発生しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ボックスに表示されたスタック・トレースを検討し、Processor.validateConfiguration() 実装を修正します。

IIS-CONN-JAVA-00172E ユーザー・コードから列メタデータのセットを取得中に例外が発生しました。

説明: ユーザー・コードから列メタデータのセットを取得中に Java 例外が発生しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ボックスに表示されたスタック・トレースを検討し、Java コードを修正します。

付録 A. 製品のアクセシビリティ

IBM® 製品のアクセシビリティ対応状況についての情報を入手できます。

IBM InfoSphere® Information Server 製品のモジュールおよびユーザー・インターフェースは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況の詳細は、http://www.ibm.com/able/product_accessibility/index.html の IBM 製品のアクセシビリティ情報をご覧ください。

アクセシビリティ対応資料

インフォメーション・センターには、InfoSphere Information Server 製品のアクセシビリティ対応資料が用意されています。インフォメーション・センターでは、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で資料を提供しています。インフォメーション・センターでは XHTML を使用しているため、使用しているブラウザに設定されている表示形式で資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーやその他の支援技術を使用して、資料にアクセスすることもできます。

インフォメーション・センターにある資料は、PDF ファイルでも提供されますが、こちらは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM のアクセシビリティに対する取り組み

アクセシビリティに関する IBM のコミットメントの詳細については、IBM Human Ability and Accessibility Center を参照してください。

付録 B. IBM の窓口

お客様サポート、ソフトウェア・サービス、製品情報、および全般情報について、IBM と連絡を取ることができます。また、製品についてのフィードバックを行うことができます。

次の表に、お客様サポート、ソフトウェア・サービス、研修、製品およびソリューション情報に関するリソースをリストしています。

表1. IBM リソース

リソース	説明と場所
IBM サポート・ポータル	サポート情報は、 www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server で、製品と関心のあるトピックを選択してカスタマイズできます。
ソフトウェア・サービス	ソフトウェア、IT、およびビジネス・コンサルティング・サービスについての情報は、「ソリューション」サイト www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja にアクセスしてください。
My IBM	www.ibm.com/account/jp/ja/ の「My IBM」サイトでアカウントを作成し、特定のテクニカル・サポートのニーズに合うように、IBM Web サイトおよび情報へのリンクを管理できます。
研修と認定	個人、法人、および公共団体向けに、IT 技術の習得、維持、最適化を目的としてデザインされた技術研修およびサービスについては、 http://www.ibm.com/training にアクセスしてください。
IBM 担当員	ソリューションについて IBM 担当員と連絡を取るには、 www.ibm.com/connect/ibm/us/en/ にアクセスしてください。

付録 C. 製品資料へのアクセス

資料は、オンラインの IBM Knowledge Center、オプションでローカルにインストールしたインフォメーション・センター、PDF のブックといったさまざまな形式で提供されます。製品クライアント・インターフェースから、オンラインまたはローカルにインストールしたヘルプに直接アクセスすることができます。

IBM Knowledge Center は、InfoSphere Information Server の最新情報を探すのに最適な場所です。IBM Knowledge Center には、スイートのすべての製品モジュールの全資料のほか、ほとんどの製品インターフェースのヘルプも含まれています。IBM Knowledge Center は、インストール済み製品から開くことも、Web ブラウザーから開くこともできます。

IBM Knowledge Center へのアクセス

オンライン資料にアクセスするには、さまざまな方法があります。

- クライアント・インターフェースで、画面右上の「ヘルプ」リンクをクリックします。
- F1 キーを押します。F1 キーを押すと、通常、クライアント・インターフェースの現行コンテキストを説明するトピックが開きます。

注: F1 キーは、Web クライアントでは機能しません。

- 製品にログインしていないときなどに、Web ブラウザーにアドレスを入力します。

すべてのバージョンの InfoSphere Information Server の資料にアクセスするには、以下のアドレスを入力します。

<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ/>

特定のトピックにアクセスするには、製品 ID とバージョン番号、資料プラグイン名、および URL 内のトピック・パスを指定します。例えば、バージョン 11.3 用のこのトピックの URL は以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ_11.3.0/⇒com.ibm.swg.im.iis.common.doc/common/accessingiidoc.html

ヒント:

Knowledge Center には、以下の短縮 URL もあります。

<http://ibm.biz/knowctr>

特定の製品ページ、バージョン、またはトピックの短縮 URL を指定するには、短縮 URL と製品 ID の間にハッシュ文字 (#) を使用します。例えば、すべての InfoSphere Information Server 資料の短縮 URL は、以下のとおりです。

<http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ/>

また、前述のトピックの URL を少し短くした短縮 URL は、以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

```
http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ_11.3.0/com.ibm.swg.im.iis.common.doc⇒  
common/accessingiidoc.html
```

ローカルにインストールした資料を参照するヘルプ・リンクの変更

IBM Knowledge Center には、最新版の資料が含まれています。一方、インフォメーション・センターとしてローカル版の資料をインストールして、それを指すようにヘルプ・リンクを構成することも可能です。ローカルのインフォメーション・センターは、お客様の企業でインターネットへのアクセスが提供されていない場合に便利です。

インフォメーション・センターのインストール・パッケージに付属するインストール手順を使用して、任意のコンピューターにそれをインストールします。インフォメーション・センターをインストールして開始した後、サービス層のコンピューターで **iisAdmin** コマンドを使用して、製品の F1 とヘルプ・リンクで参照する資料の場所を変更できます。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

Windows

```
IS_install_path¥ASBServer¥bin¥iisAdmin.bat -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

AIX® Linux

```
IS_install_path/ASBServer/bin/iisAdmin.sh -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

ここで、<host> はインフォメーション・センターがインストールされたコンピューターの名前、<port> はインフォメーション・センターのポート番号です。デフォルトのポート番号は 8888 です。例えば、デフォルト・ポートを使用するコンピューター `server1.example.com` 上の URL 値は、`http://server1.example.com:8888/help/topic/` になります。

PDF およびハードコピー資料の入手

- PDF ファイルのブックはオンラインで利用可能で、サポートの文書 <https://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27008803&wv=1> からアクセスできます。
- IBM 資料は、オンラインでダウンロード、または IBM 担当員を通じてご注文いただけます。資料をオンラインでダウンロードするには <http://www.ibm.com/e-business/linkweb/publications/servlet/pbi.wss> の IBM Publications Center にアクセスしてください。

特記事項および商標

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、ご利用にはその言語版の製品もしくは製品のコピーを所有していることが必要な場合があります。

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、さまざまなオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されて

います。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッションごとの Cookie または永続的な Cookie を使用する場合があります。製品またはコンポーネントがリストされていない場合、その製品またはコンポーネントは Cookie を使用しません。

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用 (続き)

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Metadata Asset Manager	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 拡張されたユーザーのユーザビリティ シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere DataStage®	Big Data File ステージ	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名 デジタル署名 セッション ID 	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere DataStage	XML ステージ	セッション	内部 ID	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere DataStage	IBM InfoSphere DataStage and QualityStage® Operations Console	セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Data Click	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Data Quality Console		セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere QualityStage Standardization Rules Designer	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Information Governance Catalog		<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名 内部 ID ツリーの状態 	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere Information Analyzer	InfoSphere DataStage and QualityStage Designer クライアントの中の Data Rules ステージ	セッション	セッション ID	セッション管理	無効にできない

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライ

ン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java[™] およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

お客様サポート
連絡先 15

[サ行]

サポート
お客様 15
商標
リスト 19
製品資料
アクセス 17
製品のアクセシビリティ
アクセシビリティ 13
ソフトウェア・サービス
連絡先 15

[タ行]

特記事項 19

[マ行]

メッセージ・リファレンス
Java Integration ステージ 1



Printed in Japan

SC43-1342-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21